



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

育苗期・定植時の防除

	は種直後	本葉2～3葉期	定植前
薬剤名	タチガレン液剤	オーソサイド水和剤80	ペリマークSC
IRAC/FRAC	32	M04	28
適用病害虫	苗立枯病	苗立枯病	アブラムシ類・コナジラミ類・アザミヤカ類
希釈倍数/使用量	500～1000倍	800倍	400株あたり25ml
使用方法	苗床灌注	灌注	灌注
使用時期	は種直後	は種後から2～3葉期	育苗期後半～定植当日
使用回数	1回	5回	1回



防除チラシ掲載農薬は年間の通し回数をカウントしていません！
ご自身の散布履歴に合わせて薬剤を検討してください！



害虫対策におすすめ薬剤

IRAC FRAC	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数	影響日数 ミツバチ
4A	アブラムシ類	アルバリン顆粒水溶剤	2000～3000倍	7日前	2回	14日
4C	アブラムシ類・コナジラミ類	トランスフォームフロアブル	1000～2000倍 (アブラムシ類:2000倍)	前日	3回	10日
21A 39	アブラムシ類・コナジラミ類・アザミヤカ類 うどんこ病	ハチハチ乳剤	1000～2000倍 (コナジラミ類・うどんこ病:1000倍)	前日	2回	—
21A	アブラムシ類・コナジラミ類・ハダニ類	サンマイルフロアブル	1000～1500倍	3日前	2回	4日
25A	ハダニ類	スターマイルフロアブル	2000倍	前日	1回	1日
25B	ハダニ類	ダニコングフロアブル	3000倍	前日	1回	1日

病害対策におすすめ薬剤

IRAC FRAC	対象病害	薬剤名	予防	治療	希釈倍数	使用時期	回数	影響日数 ミツバチ
10,1	炭疽病	ゲッター水和剤	○	○	1500倍	前日	5回	0日
11,7	うどんこ病・褐色腐敗病 菌核病・炭疽病・つる枯病	シグナムWDG	○	○	1500～2000倍 (褐色腐敗病・菌核病:1500倍)	前日	3回	0日
12	菌核病・炭疽病	セイビアーフロアブル20	○	—	1000倍	前日	3回	0日

フルボディ

NPK
8-5-5

腐植酸(フルボ酸・フミン酸)→土壌の団粒化
海藻抽出成分配合→移植後の新根発生能の向上



定植ストレスを軽減・活着促進！

育苗期・定植前 1,000～2,000倍 灌注

フセキワイド フロアブル

うどんこ病に優れた予防効果！
新規作用機作のピリダクロメチル含有

1,000倍 / 収穫前日 / 4回以内
うどんこ病・つる枯病

※バルコート水和剤・フロアブルとの使用回数注意

